

笠松町新設の政策アドバイザー

松波病院理事長に委嘱

笠松町は18日、町の政策について専門的な見地から助言を行う政策アドバイザーを、同町田代の松波総合病院理事長の松波英寿氏(63)に委嘱した。

アドバイザーは、民間の



笠松町の政策アドバイザーの委嘱状を受け取る松波英寿氏
＝町役場

発想をまちづくりに生かそうと古田聖人町長の発案で新たに設置した。任期は2年で、町長や職員と不定期で会合を開いて意見を聞くほか、職員の勉強会に参加する。松波氏が第1号で、今後他分野でも専門家を委嘱していく。

委嘱状の交付式が町役場であり、古田町長は「医療や介護、福祉への造詣が深く、地域包括ケアシステムをはじめ、高齢者が住みやすい環境づくりに協力してもらいたい」とあいさつ。松波氏は「高齢化は悪いことではなく、高齢者を支え

るシステムができていないことが問題。笠松に住みたいと多くの人に思ってもらえるよう努めたい」と意気込みを語った。

(亀山大樹)